



社会福祉法人
横浜市リハビリテーション事業団



あなたらしい笑顔のために

foundation for
Yokohama Rehabilitation Services

事業団の概要

所在地 横浜市港北区鳥山町1770番地
設立 昭和62年4月1日
基本 30,000,000円（横浜市100%出資）
職員数 534名（令和7年4月1日現在）

事業内容

- 1 第1種社会福祉事業
障害者支援施設（横浜市総合リハビリテーションセンター障害者支援施設）の経営
- 2 第2種社会福祉事業
 - ア 補装具製作施設（横浜市総合リハビリテーションセンター補装具製作施設）の経営
 - イ 身体障害者福祉センター（障害者スポーツ文化センター横浜ラポール身体障害者福祉センター）の経営
 - ウ 視聴覚障害者情報提供施設（障害者スポーツ文化センター横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設）の経営
 - エ 介助犬訓練事業（横浜市総合リハビリテーションセンター）の経営
 - オ 聴導犬訓練事業（横浜市総合リハビリテーションセンター）の経営
 - カ 相談支援事業（横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市戸塚地域療育センター、横浜市北部地域療育センター、横浜市西部地域療育センター、よこはま港南地域療育センター）の経営
 - キ 障害福祉サービス事業（横浜市総合リハビリテーションセンター）の経営
 - ク 障害児通所支援事業（横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市戸塚地域療育センター、横浜市北部地域療育センター、横浜市西部地域療育センター、よこはま港南地域療育センター）の経営
- 3 障害者福祉にかかる公益事業

経営理念・経営方針

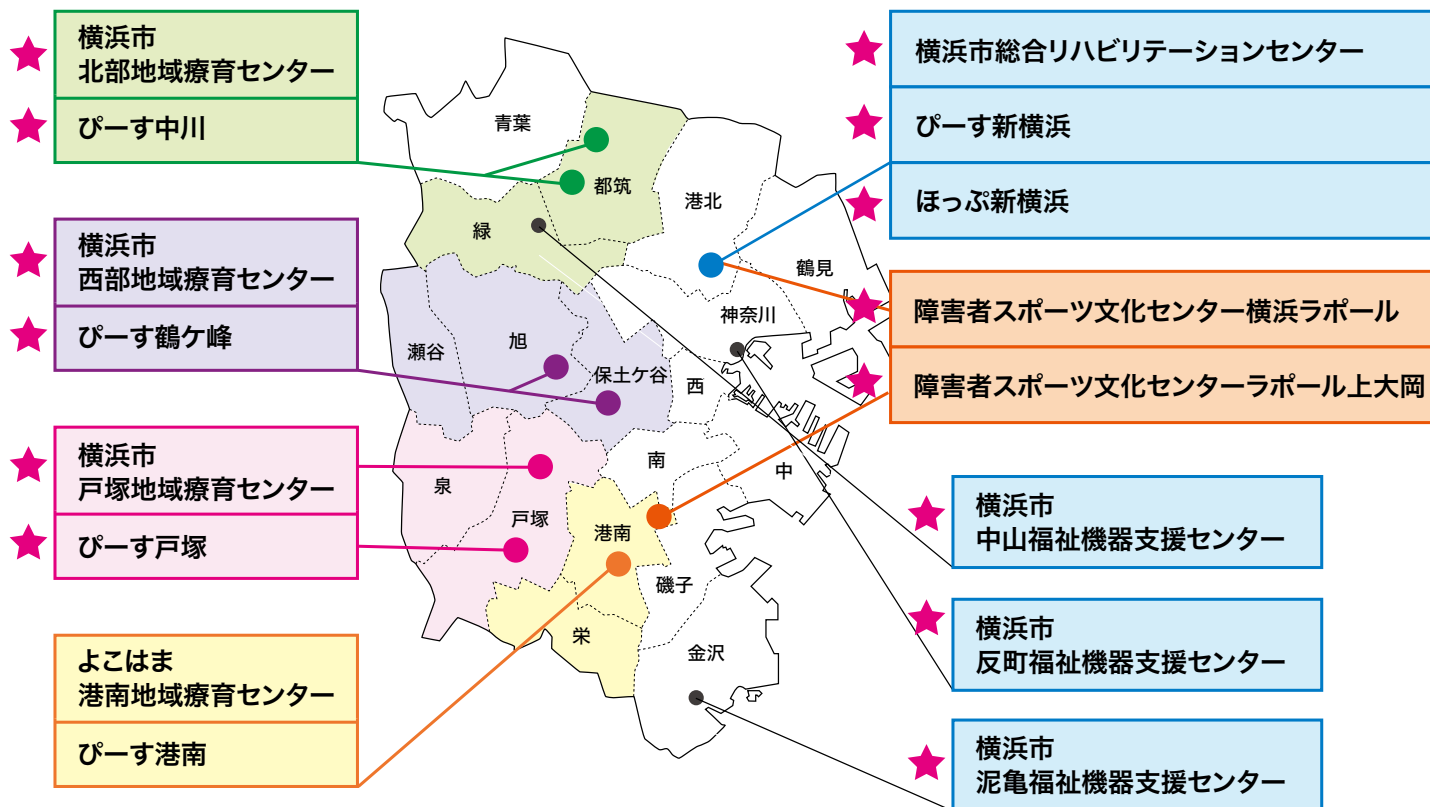
【経営理念】

私たちは、豊かな人間性と高い専門性を培い、地域で自分らしく生きることのできるリハビリテーションを推進し、全ての人が分け隔てなく暮らすことのできる社会の実現をめざします。

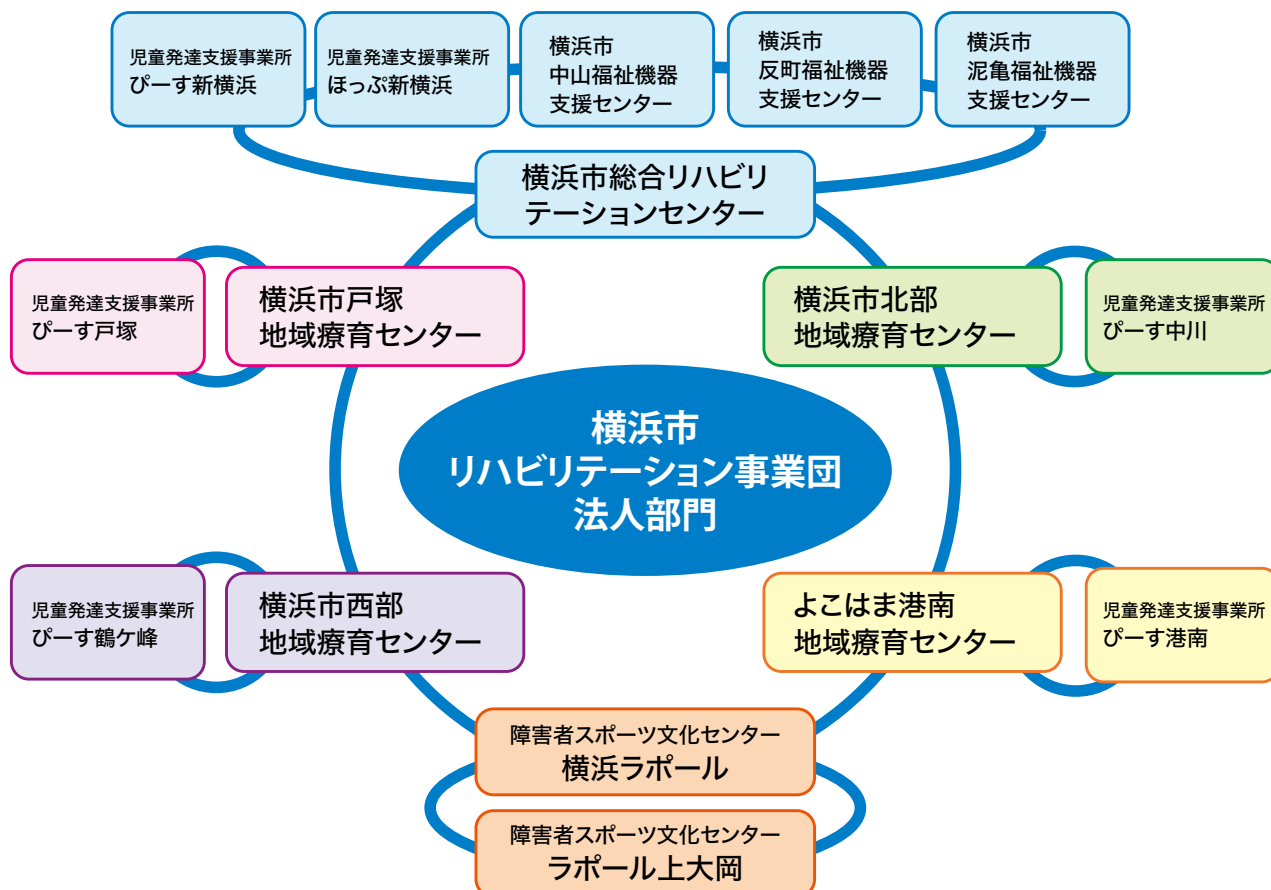
【経営方針】

- ・横浜市におけるリハビリテーションの中核機関として、リハビリテーション施策を牽引し、誰もがいつでも適切なリハビリテーションを受けられるシステムの構築をめざします。
- ・利用者一人ひとりの人権を尊重し、ニーズに適した満足のいくサービスを提供します。
- ・リハビリテーションの先進的な調査・研究・開発事業に取り組み、その成果の普及を図ります。
- ・創造力あふれた活力ある職場環境を創出し、豊かな人間性と最新の専門知識・技術をもつ職員を育成します。
- ・経営の効率化と透明化を図り、市民とともに歩む事業団をめざします。

運営施設



★ 設置：横浜市
指定管理者：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団



横浜市 総合リハビリテーションセンター

横浜市におけるリハビリテーションの中核施設として、小児から成人に至るまでのライフステージに沿った一貫したリハビリテーションサービスを提供しています。今後のサービスの展開にあたっては、学齢障害児への支援体制の強化、高次脳機能障害への取組など、多様化する利用者のニーズを的確に捉えながら、障害児・者が地域で安定した生活を送ることができるように支援を行っていきます。

1 相談

センターを利用される全ての方の相談・調整窓口として、横浜市障害者更生相談所と密接に連携して様々な相談に応じるほか、センターの専門機能を一体化した連続的・総合的サービスを提供するためのマネジメントを行っています。また、障害児・者の地域生活の充実を図るため、関係機関に対する相談支援についても積極的に取り組んでいます。



2 診療・入院・訓練

19床の入院設備を備えた診療所において、医学的な診断、評価、検査等を行い、リハビリテーション計画を立案しています。医師、看護師、セラピスト等の専門スタッフにより、外来・入院診療や理学療法・作業療法、言語・聴能訓練、心理相談、検査等を行うとともに、地域医療機関との連携や医療サービスの向上に努め、在宅生活への継続した支援を行います。



3 療育

乳幼児から学齢児を対象に、診断評価に基づく個別療育・訓練等を実施するとともに、集団療育や保護者向けのセミナーの実施など様々な形態で専門性の高い支援を行い、港北区の地域療育センターの機能を担っています。また、学齢後期（中学校期以降）については、横浜市全域を対象に継続的支援を行っています。



- (1) 児童発達支援 (定員50人)
- (2) 児童発達支援(難聴) (定員24人)
- (3) 児童発達支援事業所※「ぴーす新横浜」
(日々定員12人)

※主に知的障害を伴わない発達障害のあるお子さんに対し、週1回の集団療育や保護者に対する支援、またお子さんが通われている保育所・幼稚園への技術支援等を行っています。

- (4) 児童発達支援事業所※「ほっぷ新横浜」
(日々定員10人)

※4・5歳児の難聴児を対象に個別・グループ療育を実施しています。



4 社会参加支援

障害者の就労に向けた職業相談や社会参加プログラム、機能訓練、職能評価等を行っています。また、障害者手帳をお持ちでない方を対象とした通所による作業訓練等を行っています。

- (1) 障害者支援施設
(定員 施設入所支援30人、
自立訓練36人〈機能訓練〉)
- (2) 就労支援施設（定員30人）
- (3) 職能評価開発事業
(職能訓練コース 定員10名)

5 企画開発研究

リハビリテーションに関する研究開発等の実施をとおり、新しい福祉機器の開発・実用化をめざしています。また、民間企業や大学等との福祉機器の共同開発や福祉機器の臨床評価も行っています。実生活における様々な福祉機器に関するニーズに対しては、きめ細かい臨床工学サービスを行っています。

- (1) 補装具製作施設
- (2) 企画開発研究事業

6 地域サービス

区福祉保健センター等と連携し、在宅生活をされている障害児・者に、自主トレーニング方法や介助テクニックのアドバイス、家屋の住宅改造など、実生活の場で具体的なリハビリテーションを必要とする方々に対しての専門スタッフによる居宅訪問の実施や関係機関に対する技術支援を行っています。

- (1) 地域・在宅巡回事業
- (2) 福祉機器支援センター（中山・反町・泥亀）

7 その他

- (1) 高次脳機能障害支援センター運営事業
地域における高次脳機能障害者のニーズに応じた支援を行っています。
- (2) 介護実習・普及センター運営事業
関連する各事業と連携しながら、介護保険サービス事業者、地域包括支援センター等に対する職員研修や技術支援を行っています。

地域療育センター

各地域における療育の中核施設として、0歳から学齢期（主に小学校期）の児童を対象に、地域の関係機関と連携して、相談から診断・評価・個別療育・集団療育・訓練にいたるまで専門スタッフによりサービスを提供しています。

障害があるお子さんとその家族が地域において安心して生活できることをめざして、保護者からの相談に対して適切な助言・援助を行うなど、保護者支援を積極的に推し進めるとともに、地域における様々な療育活動を支援していきます。

1 相談

地域療育センターを利用される方に対して、各種相談に応じています。保護者への初期相談や子どもの遊びの場の提供に対応するとともに、地域の関係機関や区福祉保健センター等と連携しながら、それぞれのライフステージに沿った支援・サービスについて一緒に考えていきます。



2 診療・訓練

診療所を設置し、医師、看護師、セラピスト等の専門スタッフにより、医学的な診断、評価、検査、訓練等を行っています。



4 地域サービス

区福祉保健センターと協働して4か月児・1歳6か月児療育相談を行っています。

また、保育所・幼稚園等の関係機関、小学校等を訪問し、障害児に対する技術支援を行うとともに、関係機関の職員や支援スタッフ等を対象として、障害の理解やその対応に関するセミナー等を開催しています。



3 療育

就学前の児童を対象として、通園施設や児童発達支援事業所等による集団療育を行っています。

【通園施設等】（就学前の児童を対象）

- (1) 児童発達支援（戸塚センター：定員60人、北部、西部センター：定員70人、港南センター：定員76人）
- (2) 児童発達支援事業所（戸塚センター：日々定員24人、北部、西部センター：日々定員12人、港南センター（1）に含む）



横浜市戸塚地域療育センター



横浜市北部地域療育センター



横浜市西部地域療育センター



よこはま港南地域療育センター

障害者スポーツ文化センター ラポール

市内唯一の障害者のスポーツ・文化・レクリエーション振興の中核拠点施設として、利用者や地域の様々な状況に即した事業を実施しています。運営の基本理念を「リハビリテーションサービスの向上」、「豊かな人生への支援」、「共生社会実現への取組」として、リハビリテーション・スポーツを核とした各種プログラムの展開や、事業団各部門と連携し、多様な地域資源を含むネットワークを構築する取組を実施しています。また、情報発信や障害児・者の社会参加支援を促進します。

1 スポーツ

【スポーツ・レクリエーション事業】

障害者スポーツ・レクリエーションを推進するため、スポーツ教室などを開いて指導・研究に取り組んでいます。

【スポーツ交流・イベント事業】

スポーツ大会や交流イベントを企画して障害に対する理解を深め、市民相互のふれあいを図っています。

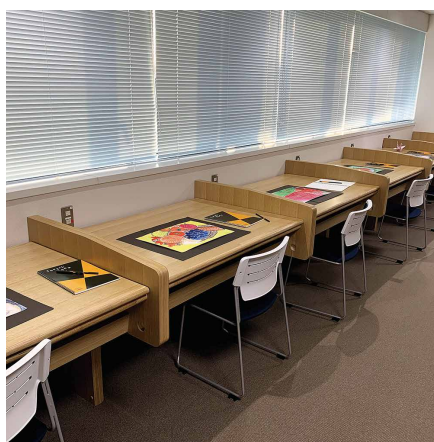
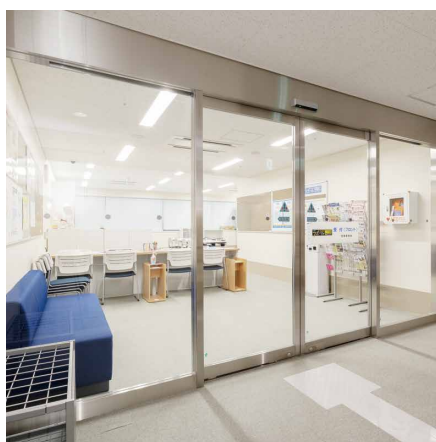
【リハビリテーション・スポーツ事業】

医療とスポーツの連携プレーで、障害のある方のリハビリテーション・スポーツや健康づくりをリハセンターと連携して進めています。また、各種競技会へ出場するアスリートの育成を進めています。

【地域支援事業】

市内各区域の障害者スポーツ指導者やボランティアとの連携をはかり、地域を拠点とした日常的な障害者スポーツ活動の普及に向けた環境作りを進めています。





2 文化

【文化企画事業】

芸術祭、展覧会、音楽会、教室などの実施をとおして、障害のある方の文化活動を支援し、活動の振興を図っています。

【情報ネットワーク事業】

インターネットで情報提供をするとともに、障害のある方の情報通信利用を支援しています。

【おもちゃ図書館事業】

障害児の生活領域と遊びの楽しさを広げるために、おもちゃの貸し出し、行事や講座などを実施しています。

【地域支援事業】

市内施設や団体と共催し、地域における障害児・者への出張文化教室を開催しています。

3 聴覚障害者情報提供施設

手話・筆記通訳者の派遣、聴覚障害者相談、聴覚障害者向け字幕・手話入りビデオの制作・貸し出しなどを行っています。（横浜ラポール）



市民ニーズに対応し様々なサービスを展開しています。



当事業団では、利用者や家族のニーズに合わせ、様々な講座やイベント等を企画、開催しています。また、職員一人ひとりが社会全体を意識し、社会貢献活動等に関する取組を推進しています。

- ・利用者作品展
- ・家族教室、家族交流会
- ・各種講座、セミナー関連
- ・研究・開発

- ・公益的な取組・イベント 等
 - ・ラポールの祭典
 - ・ペットボトルキャップの回収 等
- ※CSR（企業の社会的責任）活動を含む



事業団ホームページ



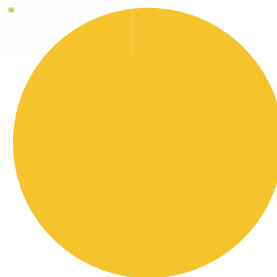
社会福祉法人
横浜市リハビリテーション事業団
<https://www.yrf.jp>



YouTube (ユーチューブ)



社会福祉法人
横浜市リハビリテーション事業団
公式チャンネル
<https://www.youtube.com/user/yokohamaYRS>



事業団の沿革



1987年（昭和62年）

横浜市リハビリテーション事業団 設立 横浜市総合リハビリテーションセンター 開所

幼児から高齢者までの障害のある方を対象に、総合的なリハビリテーションを行う施設として横浜市総合リハビリテーションセンターを開所、受託運営を開始。

1989年（平成元年）

横浜市戸塚地域療育センター 開所

元号が「平成」へと変わったこの年の10月1日、障害児通園施設として横浜市戸塚地域療育センターを開所、受託運営を開始。

1992年（平成4年）

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 開館

8月28日、障害者のスポーツ・文化・レクリエーション活動を進める場として、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールを開館、受託運営を開始。

1994年（平成6年）

横浜市北部地域療育センター 開所

1月20日、障害児通園施設として横浜市北部地域療育センターを開所、受託運営を開始。

1998～1999年
（平成10～11年）

横浜市中山・反町・泥亀福祉機器支援センター 開所

福祉機器・住宅改造・介護・介助等の相談等を行う施設として、平成10年12月1日横浜市中山福祉機器支援センター、平成11年5月1日横浜市反町福祉機器支援センター及び横浜市泥亀福祉機器支援センターを開所。

2001年（平成13年）

横浜市西部地域療育センター 開所

4月1日、障害児通園施設として横浜市西部地域療育センターを開所、受託運営を開始。

2013年（平成25年）

よこはま港南地域療育センター 開所

4月1日、初めての民設民営施設となるよこはま港南地域療育センターを開所。

2020年（令和2年）

障害者スポーツ文化センターラポール上大岡 開館

1月10日、障害者のスポーツ・文化・レクリエーション活動を進める場として障害者スポーツ文化センターラポール上大岡を開館。

横浜市総合リハビリテーションセンター

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1770
TEL. 045-473-0666(代表) / FAX. 045-473-0956

ぴーす新横浜

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-11
光正第3ビル3F
TEL. 045-474-4030 / FAX. 045-472-3980

ほっぷ新横浜

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-2
京浜第5ビル2階
TEL. 045-472-9812 / FAX. 045-472-9813

横浜市中心山福祉機器支援センター

〒226-0019 横浜市緑区中山2-1-1
ハーモニーみどり1F
TEL. 045-935-5489 / FAX. 045-935-5497

横浜市反町福祉機器支援センター

〒221-0825 横浜市神奈川区反町1-8-4
はーと友神奈川2F
TEL. 045-317-5471 / FAX. 045-317-5472

横浜市泥亀福祉機器支援センター

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5
いきいきセンター金沢1F
TEL. 045-782-2988 / FAX. 045-782-2996

横浜市戸塚地域療育センター

〒244-0805 横浜市戸塚区川上町4-4
TEL. 045-825-1181 / FAX. 045-825-1185

ぴーす戸塚

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3970-4
TEL. 045-862-3701

横浜市北部地域療育センター

〒224-0062 横浜市都筑区葛が谷16-3
TEL. 045-942-3451 / FAX. 045-942-8501

ぴーす中川

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-19-27
ノースヒルズ中川201
TEL. 045-914-7033 / FAX. 045-914-7043

横浜市西部地域療育センター

〒240-0035 横浜市保土ヶ谷区今井町743-2
TEL. 045-353-6933 / FAX. 045-353-6934

ぴーす鶴ヶ峰

〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-36-3
太陽ホームビル 2F
TEL. 045-442-8621 / FAX. 045-442-8622

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752
TEL. 045-475-2001 / FAX. 045-475-2053

ラポール上大岡

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー 6~8階
TEL. 045-840-2151 / FAX. 045-840-2157

よこはま港南地域療育センター ぴーす港南

〒234-0056 横浜市港南区野庭町631
TEL. 045-882-1210 / FAX. 045-882-1211



YRS (foundation for Yokohama Rehabilitation Services) は、“ユアーズ (あなたのために)”というコンセプトのもとに、「ひとりひとりが自分らしく暮らす」という多様な生き方、あり方を支えたいという思いを込めています。